

¡ HOLA ! PARAGUAY

～パラグアイからこんにちは！～

2019.8 vol.3



サイレージ作り

こんにちは！

フリースやダウンが必要なほど寒くなったと思えば昼は半袖1枚で過ごす、なんてことがしょっちゅう。気温の変化が激しいです。気温の変化が激し炒め、まわりで体調を崩している人が多いです。

さて！今日はサイレージの話です。私たちは小規模酪農家さんと活動をしているため、今回はドラム缶サイレージと袋サイレージを作りました。トウモロコシを細かく裁断し、ドラム缶（プラスチック製）、配合飼料の入っていた袋にゴミ袋の中に被せたものに詰め込み、踏んで、踏んでひたすら踏みまくって圧縮しました。この作業とは空気を抜くために大切なのですが、想像以上に疲れました。

そして約1ヶ月半後、開封。匂いはとても良い匂いでしたが色は暗いオリーブ色と行った感じでした。袋サイレージの方はネズミにやられ、失敗。それでも牛の食いつきはよく、後日話を聞くと、乳量が目に見えて増えた！と農家さんが言っていました。今後は他の農家でも、ニーズに合わせた方法でサイレージ調整を行って行きたいです。うまくいかないことや悩みもたくさんありますが、このような小さな成功や喜びが活動のモチベーションに繋がっています。





マテ・テレレ

みなさん、マテ茶をご存知ですか？何年か前に太陽のマテ茶！で一時期流行りましたよね。

温かいとマテ茶、冷たいとテレレという風に呼び名が変わります。朝起きてまずマテ、仕事休憩ではテレレ、仕事後～就寝前はマテというように、パラグアイではマテ、テレレは体の一部のような存在です。飲み方は、まずグアンパ（コップ）にボンビージャ（ストロー）をさし、ジェルバ（茶葉）を入れます。ジェルバの上に、ジュージョ（薬草）や砂糖、ココナッツ、シナモンなど人によって好きな物を加え、風味付けをしたりもします。



次にテルモ（水筒）に熱湯もしくは氷水を入れます。テルモにはテレレ用（マテも可）、マテ用があり、使い分けています。この時、熱湯または水にジュージョを入れることもできます。テレレやマテは道端でテルモを渡せばジェルバを補充し、ジュージョを刻んで冷水をテルモに入れてくれる店があったり、ガソリンスタンドにはマテ（熱湯）、テレレ（冷水）スタンドもあつたりします。

そして水を注ぎ、ボンビージャで飲みます。1人で飲むこともあります、基本的にその場にいる人たちで回し飲みします。

着任当時は毎回やけどしながら、苦味に耐えて飲んでいたマテも、今では毎朝飲まないと頭がスッキリしないぐらいに習慣化しました！

次回の通信もお楽しみに！！

